

関東団地少年野球連盟 千葉支部大会運営規則

令和4年2月改正

「大会規約」

1. 本連盟が主催する、千葉支部大会はすべて、日本公認野球規則及び全日本軟式野球連盟の「学童の部」の要項に基づく。
2. 第1項の他、次の「連盟大会規則」も設定し、「連盟大会規則」が優先する。
3. 本大会・ジュニア大会とも本規約を適用する。

「連盟大会規則」

1. 登録選手及び指導者

- (1) 登録する選手は、連盟規程のフォーマットで作成し提出すること。
- (2) 登録された監督とコーチは、監督30・コーチ28と29のユニフォームを必ず着用すること。またチーム代表者・スコアラーはチームの帽子を着用し、指導者としての服装を着用する。
- (3) 登録選手は1チーム20名以内を原則とする。
- (4) チーム編成は、本大会は6年生、ジュニア大会は5年生とする。ただし、選手の在籍数により、次の配慮を行う。
 - a. 選手登録は、本大会の部（6.5.4年生）、ジュニアの部（5.4.3年生）ともに11名以上での編成が望ましい。止むを得ず、上記以外の下級生を登録するチームは、チームの責任において、事故等に最大限の配慮をする。
また、試合中に危険がある場合は、試合途中での棄権を認める。
 - b. 上級生の部員不足でチーム編成ができない場合に限り、下級生の2部にわたる登録を認める。（ダブル登録）
同一学年で12名の在籍登録があるチームは、そのチームで試合が可能とみなし、試合予定を組むときに試合時間調整等考慮せず試合を組むことがある。
 - c. 連盟登録チームで、本大会の部（6.5.4年生）、ジュニアの部（5.4.3年生）において10名以下のチームの、2チーム連合での各大会毎の参加を認める。（2チームで10名以下の場合、連合を3チームまで認める。連合での参加は同一地区チームで合同練習が出来ることが望ましい。）
 - ①連合での参加を求めるチームは、大会抽選会までに事前に登録選手名簿を当該支部長に提出し、承認を必要とする。
 - ②チーム名は両チーム併記とすることが望ましい。
 - ③統一されたユニフォームが望ましい。個々のチームのユニフォームも可とするが、背番号は統一されていること。

- ④連盟登録チームで、登録外チームとの連合はチーム名を連盟登録チーム、統一されたユニフォームとする。
- (5) 中央大会の出場メンバーは、支部大会申込み時に提出されたものに基づく。
- (6) 代表者会議（抽選会）には必ず代表（監督）が定刻までに出席すること。代理抽選は原則として認めない。

2. 試合

6

- (1) 大会の試合イニング数は~~7~~回戦とする。
- (2) 試合時間は、試合開始後1時間30分経過したときは、新しいイニングに入らない。
なお、勝敗が決しない場合は、試合終了時の9選手による○×の抽選をおこない、勝敗を決める。
- (3) 決勝戦は、規定イニング、規定時間内で同点の場合でも延長線を行わずただちに特別延長戦（タイブレーク）を適用する。
特別延長戦（タイブレーク）は一死満塁を設定し、打者は最終回の次打者（継続打順）からとする。その回数は2イニングまでとし、勝敗が決しない場合は抽選とする。
- (4) 試合成立
決勝戦を除き、4回の終了時又は、1時間30分を経過したときをもって試合成立とする。
ただし、次の場合コールドゲームが成立する。
 - ~~① 3回以降15点以上差がついた場合。~~
 - ~~② 4回以降10点以上差がついた場合。~~
 - ~~③ 5回以降7点以上差がついた場合。~~
 - ④ 4回以降7点差以上差がついた場合
 - ④ 降雨、強風等の悪天候や日没、その他試合続行が困難な場合で4回が終了したとき。

3. 試合マナー

- (1) 選手はマナーを守り、言葉と行動を慎むこと。
- (2) チームの集合は、特に定めない限り、試合開始予定時刻30分前までに到着し、大会本部（各試合場の責任者）に届け出る。
- (3) チームの応援については、節度とマナーを守ること。スタンドからのマナー違反に対しても監督の責任であり、退場もあり得る。
- (4) 選手交代は全力疾走のこと。

- (5) 試合中における審判への抗議は、監督または当該選手に限る。
- (6) 試合球は、公認C号球とする。
- (7) 投球練習は、初回及び交代時7球以内、2回以降は4球以内とし、野手間のボール回しは禁止する。
- (8) 打者・走者及びランナーコーチはヘルメットを着用し、捕手は（控捕手も含む）マスク・レガース・プロテクター・ヘルメット着用を義務づける。
（全軟連・学童部に登録されている物）
- (9) 選手の手袋は、単色に限り認めるが、リストバンドの使用については認めない。
- (10) 監督がタイムをとり選手に指示を与える場合、ダイヤモンド内とし、速やかに指示を与え行動する。

4. 試合ルール

- (1) 明らかな不正投球は1回目からボークとする。
- (2) 投手は変化球を投げてはならない。審判が変化球と判定した場合は、その旨監督に注意した上で、なおかつ変化球と判定された時は、現試合に限り投手になれない。
- (3) ベースは固定式（移動ベース）とする。
- (4) 作戦タイムは、攻撃時3回、守備時3回の計6回までとする。
- (5) ボールデッド時の進塁権は、当該グラウンドの定めるところによる。

進塁権A－エンタイトルツーベース(テイクツー) B－エンタイトルワンベース(テイクワン)は以下になる。

打球処理直後の内野手の最初のプレーに基づく悪送球であった場合は、投手の投球当時の各走者の位置、その他の場合は、悪送球が野手の手を離れたときの各走者の位置を基準として

A－2個の進塁（打者2塁、走者2個）

B－1個の進塁（打者1塁、走者1個）

与える。

B エンタイトルワンベースの例

1) 内野ゴロで内野手が1塁に悪送球をした時、打者には1塁を与えるに過ぎない。（A 2塁を与える）

2) 1塁走者に対する牽制球が、ボールデッドに入った場合、投手板上からの送球も、投手板をはずした場合も同じく2塁に進める。

（A 投手板上から2塁、投手板をはずした場合3塁）

(打者に対する投球がボールデッドに入った場合、A、B共、走者に1個、打者、四球目、三振目時は、A、B共、打者に1塁を与える)

- 3) 2、3塁間で挟撃プレー中、野手の送球がボールデッドに入った場合も3塁に留める。(A 本塁)ただし球が野手の手を離れた時、走者がすでに3塁に達していたら本塁を与える。
- 4) 外野に長打した打者走者が2塁を回った時、外野手がアウトにしようとした送球(中継した場合はその野手の送球)がボールデッドに入った場合、3塁を与えるに過ぎない。(A 本塁)
- 5) フェアの打球がバウンドしてスタンド及びボールデッド内に入るか、野手に触れて進路が変わり、1塁又は3塁線外にあるスタンド及びボールデッド内に入った場合、2個の塁が与えられる。(A、B同様)

5. 大会申合わせ事項

(1) 組み合わせ調整会議

次週の試合の組み合わせは原則として大会期間中、毎週日曜日の17:00~18:00に調整会議を行う。

事情により試合開始時間の希望がある場合は申し出ること。

(2) グラウンドの設営

大会会場の設営・整理・後始末は各チーム積極的に協力すること。支部役員・地元チーム関係者はグラウンドキーパーではない。

(3) 試合開始予定時刻になっても到着しない場合は、原則として棄権したものとみなす。

(4) ベンチは、組み合わせ番号の若い方を一塁側とする。

(5) グラウンドルール

各会場のローカルルールを適用する。

(6) 試合中はグラウンド内での飲食・喫煙をしてはならない。

(7) シートノックは各チーム5分以内とし、後攻・先攻の順に行う。ただしノッカーは監督・コーチに限る。

(8) 先発メンバー表と登録メンバー表に違いがある場合は、本部でカットする。

(9) メガホンは、チームに1個に限り使用を認める。

(10) 参加チームは部員(選手)の学校行事(運動会・参観日等)の日程を把握し大会エントリーをすること。

①チームは学校行事及び学校行事に準じる行事が大会期間中にある場合は、季毎の代表者会議時に書面で届け出ること。

学校行事等の適用は、チーム毎に選手が通う2校を限度とする。

②感染症等により、選手が登校している学校が休校、学年閉鎖となった場合、その学校または学年に属する選手は試合に出場できない。

諸状況を考慮して当該試合に限り、応援選手を追加登録することを認める。

(II) 緊急の試合運営

試合途中における降雨等の処理は、全て会場にて大会本部が決定する。

6. 審判員

(1) 審判は各チーム2名を出す。

(2) 審判は審判服を着用する。審判服は上衣ブルー（長、半袖どちらも可）、下衣グレーとする。防寒着として、黒色または紺色のウインドブレーカー、Vジャン、ブレザー、Vセーターの着用を認める。靴は黒色とする。

(3) 審判は先番が球審・二塁、後番が一塁・三塁を担当する。

(4) 審判のローテーションは原則として下記による。

①当該グラウンドで4試合行われる場合

第1試合と第2試合の前後、第3試合と第4試合の前後が担当する。

②当該グラウンドで3試合行われる場合

第1試合は第3試合の審判、第2試合は第1試合の審判、第3試合は第2試合の審判が担当する。

7. その他

(1) 理事会、支部役員会の決定事項については、参加登録クラブの全員が一致協力し、運営を阻害しないこと。

(2) 選手登録時において、書類記入不備なチームには参加資格を認めない。

(3) 不正行為が行われた場合は、その大会については失格とする。

(4) チームはゴミ袋を持参し、自分達のゴミは自分達で必ず持ち帰ること。

(5) グラウンドへの車輛乗り入れは、1チーム5台を限度とする。

(応援に来られた車輛を含む)

各グラウンドの駐車ルールを守り利用すること。

関東団地少年野球連盟
千葉支部大会運営規則

平成16年3月改正
平成19年6月改正
平成22年2月改正
平成23年2月改正
平成24年2月改正
平成25年3月改正
平成28年2月改正
令和4年2月改正